

# 東京湾海況情報 18-07

東京湾水質調査結果（平成18年10月分）

平成18年10月10日  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒293-0042 富津市小久保3091  
 TEL 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072  
 E-mail [futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp](mailto:futtsu-gk@mz.pref.chiba.jp)

## 東京湾水質調査結果(平成18年10月分)

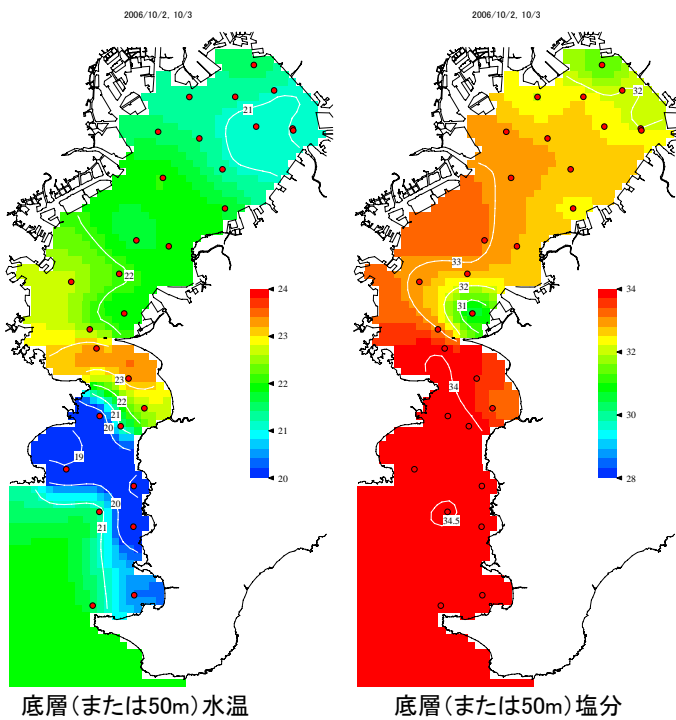
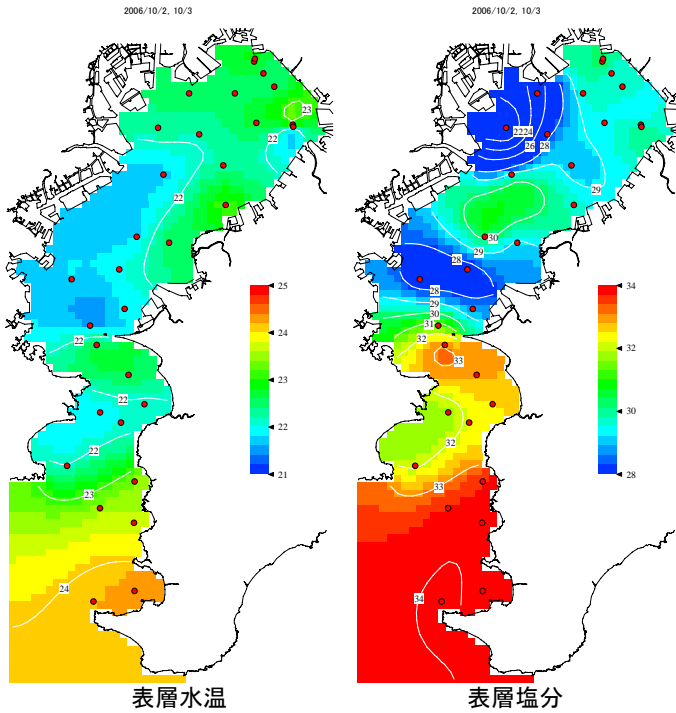


図1 東京湾の水温・塩分分布

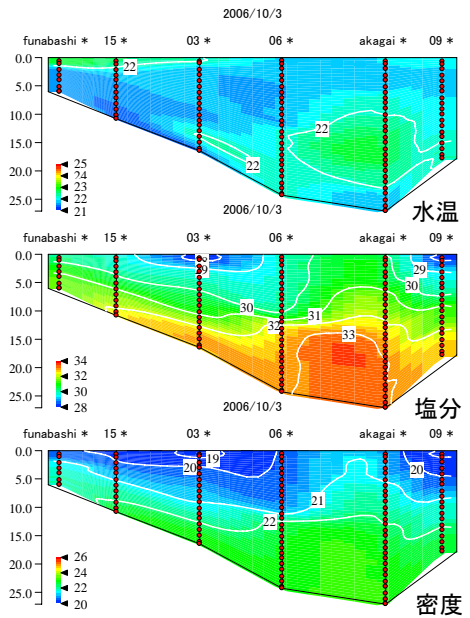


図2 内湾の鉛直分布

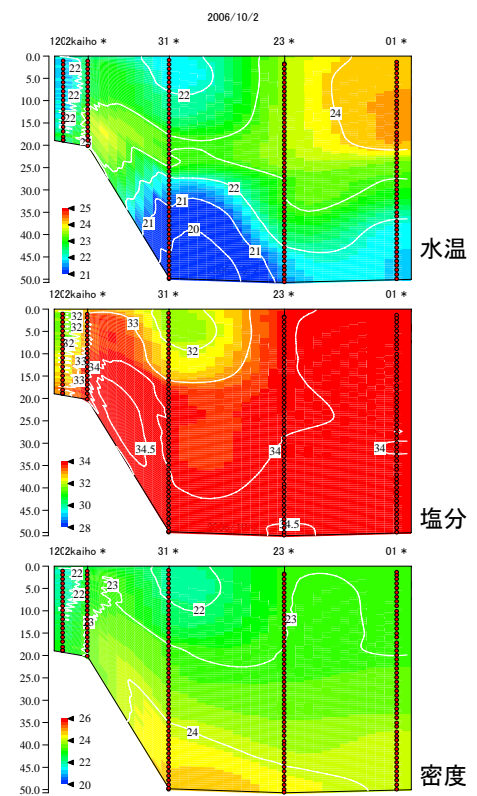


図3 内房海域の鉛直分布

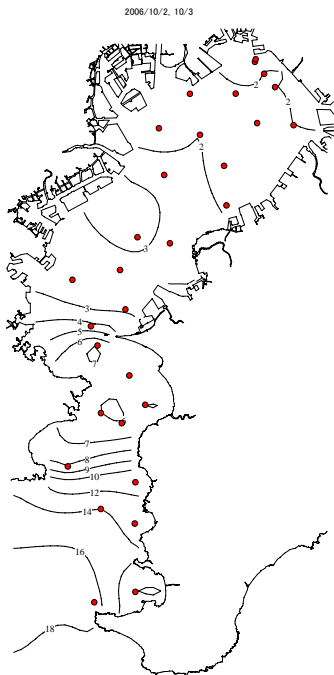


図4 透明度の分布 (単位: m)

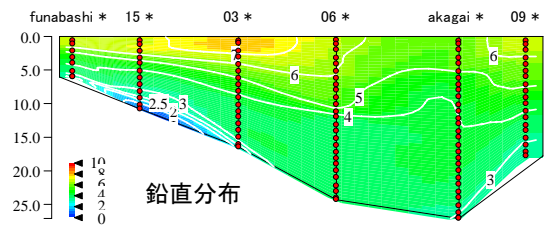
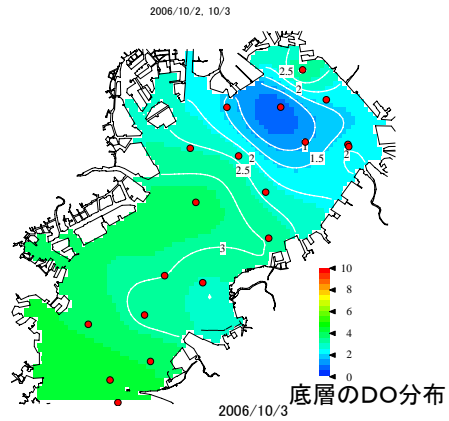


図5 内湾のDO分布 (単位: ml/L)

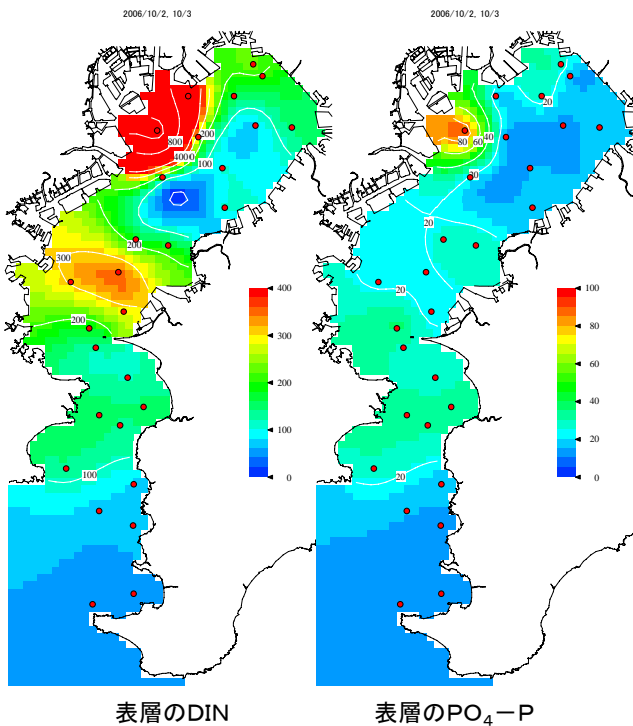
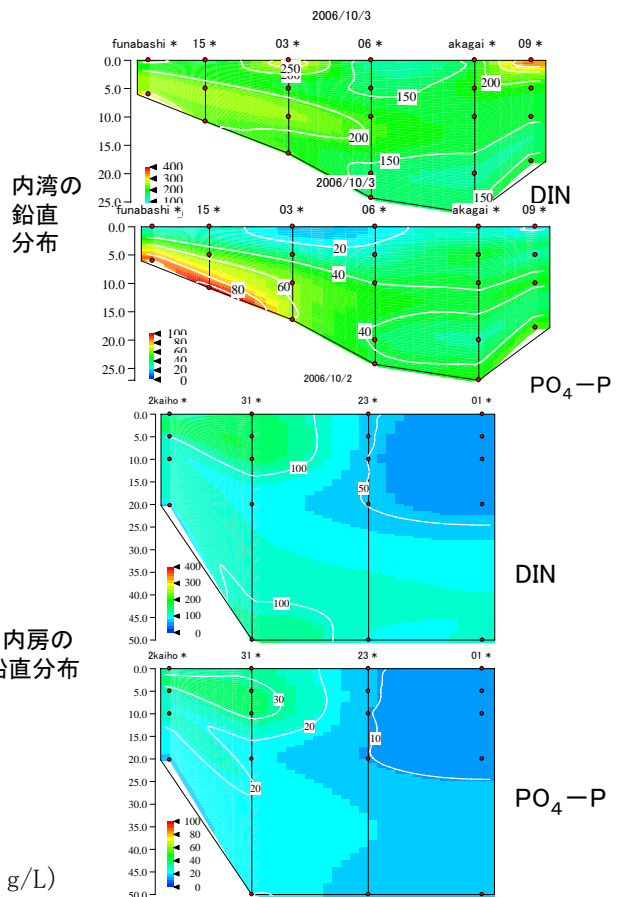


図6 栄養塩の分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )



水温・塩分 (図1~3、表1)

表層の水温は、内湾は21~23℃ (平年並み)、内房は21~24℃ (ほぼ平年並み) でした。表層の塩分は、内湾は27~30 (内湾南部は平年より低め)、内房は31~34 (平年より高め) でした。南北縦断ラインでの水温と塩分の鉛直分布は、内湾は水温22℃前後、塩分27~33でした。水温は鉛直的にほぼ一様で、成層は弱まってきました。内房は水温19~25℃、塩分31~34.5でした。

### 赤潮の状況(図4、表1)

内湾の広い範囲が赤潮に近い状態でした(内湾のpH 8.4~8.7)。

主なプランクトンは珪藻のニッチア(*Nitzschia pungens*)であり、その他に珪藻のコスキノディスクス(*Cosinodisus* spp.)、ディチウム(*Ditylum brightwellii*)が見られました。

透明度は、内湾2~3m、内房6~17mでした。また、表層のクロロフィルaは内湾10~30 μg/L、内房10 μg/L以下でした。

千葉県の赤潮の目安(内湾海域)は

「海色：オリーブ色~褐色、溶存酸素の飽和度：150%以上、透明度：1.5m以下、pH：8.5以上、クロロフィルa量：50 μg/L以上」としています。

### 貧酸素水塊の状況(図5、表1)

貧酸素水塊は、内湾の北部にのみ分布しており、内湾の南部では解消していました。硫化物を含む無酸素水も深堀部以外では分布していませんでした。

水産総合研究センターでは溶存酸素量2.5ml/L(飽和度50%)以下を貧酸素水としています。

### 栄養塩類(図6、表1)

表層の溶存無機態窒素(DIN)は、内湾85~1,300、内房30~180 μg/Lでした。内湾では、盤州から千葉港にかけてDINが少なかったです。表層のリン酸態リン(P04-P)は東京灯標以外は5~30 μg/Lであり、平年と比較すると内湾はやや低め、内房はやや高めでした。

### 黒潮の動き(図7)

10月3日の一都三県漁海況速報によると、八丈島をとおり東の冷水域を迂回して流れています。

なお、10月4日頃から内房海域で沖合水の差し込みが見られます。急潮や潮位の変化に注意して下さい。

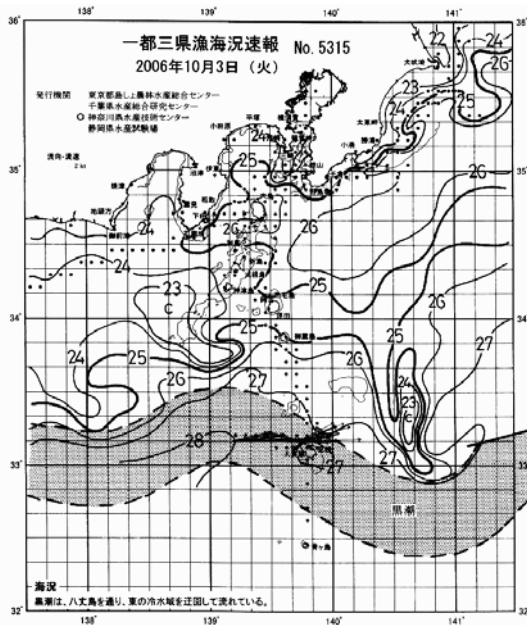


図7 黒潮の動き

表1 主な調査点の水質調査結果(表層)

調査年月日：平成18年10月2日、3日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (mg/L)	溶存無機 態窒素 (μg/l)	リン酸 態リン (μg/l)	アンモニア 態窒素 (μg/l)	クロロフィ ルa量 (μg/l)
船橋	2.3 (2.7)	22.7 (22.1)	29.92 (28.71)	8.5 (8.3)	3.1 (3.0)	217 (425)	24 (51)	11 (166)	19
st. 15	1.9 (2.9)	22.3 (22.0)	29.31 (28.54)	8.5 (8.3)	0.1 (8.3)	152 (342)	24 (28)	10 (55)	22
st. 3	2.0 (3.0)	22.1 (21.8)	27.67 (28.38)	8.6 (8.4)	2.4 (8.4)	280 (1.6)	13 (351)	12 (22)	18
st. 6	2.5 (3.5)	21.6 (21.8)	29.42 (28.88)	8.5 (8.3)	3.3 (2.0)	115 (345)	16 (23)	15 (44)	26
st. 9	2.3 (4.0)	21.8 (21.9)	27.64 (29.76)	8.5 (8.3)	2.9 (3.3)	349 (316)	19 (22)	16 (38)	26
盤洲Cブイ	1.9 (3.9)	23.0 (22.8)	29.40 (30.33)	8.6 (8.2)	3.0 (2.7)	85 (312)	12 (35)	11 (53)	28
st. 8 (盤洲Aブイ)	2.4 (4.3)	22.4 (22.0)	28.97 (30.48)	8.5 (8.2)	2.5 (2.6)	167 (284)	26 (30)	13 (43)	11
富津ベタ	2.9 (4.4)	21.7 (22.1)	28.44 (29.98)	8.4 (8.2)	3.6 (3.9)	283 (267)	17 (29)	19 (43)	30
第2海ほ下	7.0 (6.5)	22.4 (22.1)	32.99 (31.04)	8.1 (8.2)		108 (274)	26 (27)	35 (46)	1
st. 31	6.0 (8.2)	21.7 (22.4)	31.69 (31.57)	8.1 (8.3)		140 (209)	29 (17)	24 (34)	8
st. 23	14.0 (15.6)	23.4 (23.6)	33.76 (33.56)	8.1 (8.3)		52 (49)	11 (4)	17 (20)	0
st. 1	17.0 (14.3)	24.2 (23.8)	34.02 (33.76)	8.1 (8.3)		36 (46)	6 (4)	17 (20)	1
st. 10 (下洲沖)	6.0 (6.9)	22.4 (22.2)	32.81 (31.36)	8.1 (8.3)		105 (232)	23 (19)	28 (40)	
st. 12 (湊沖)	7.0 (6.9)	21.9 (22.3)	32.41 (31.71)	8.1 (8.2)		131 (179)	30 (14)	30 (32)	
st. 22 (泉田沖)	11.0 (11.6)	23.3 (23.2)	33.68 (33.02)	8.1 (8.3)		61 (97)	12 (7)	20 (25)	
st. 24 (富津沖)	13.0 (14.8)	23.6 (23.5)	33.81 (33.67)	8.1 (8.2)		53 (55)	9 (5)	22 (24)	
st. 26 (館山湾内)	12.0 (15.9)	24.3 (23.6)	33.97 (33.68)	8.1 (8.2)		34 (75)	6 (7)	18 (25)	

※透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。

## 東京湾で異常潮位が発生

10月7日から8日にかけて、潮位が異常に高くなりました(千葉で10月7~8日に予測潮位より30~60cm上昇)これは、大潮、低気圧の通過、北西風の外に、10月4日頃からの沖合水の差し込みなどが重なったために起きたと思われます。

秋季は台風の通過などで潮位が高くなり易いので、今後も引き続き注意が必要です。

資料：東京湾水質調査(10/3内湾：わかふさ、10/2内房：ふさみ丸)  
海上保安庁海洋情報部(千葉灯標モニタリングポスト)  
一都三県漁海況速報、東京湾口海況図